

日交研シリーズA-626

平成 26 年度共同研究プロジェクト

交通経済学に着目した都市集積の経済、自動車市場、および地域間人口移動の政策分析

刊行：2015 年 4 月

公共交通における運賃統合の経済分析

Economic Analysis of the Tariff Integration in Public Transports

主査：田淵隆俊（東京大学大学院教授）

Takatoshi TABUCHI

要 旨

先進国を中心に世界の多くの都市で、多様な事業者によって運営される公共交通の運賃を統合する動きが活発になってきている。統合のおもな目的は、効率的な経路が割高であることに起因する消費者の選択の歪みを除去したり軽減したりすることである。本論文では、公共交通の利用者とサービス提供者の簡単なモデルを用いて、運賃統合のそのような効果を分析する。とくに、ある条件のもとでは、利用者の所得と交通事業者の収入をそれぞれ再分配することによって、すべての利用者とすべての事業者の厚生が改善されるような共通運賃が存在することを示す。

キーワード：共通運賃、消費者の選択の歪み、賃金分布、規模の経済、異質な消費者、
運賃統合

Keywords : Common Fare, Distortion in Consumers' Choices, Distribution of Wage,
Economy of Scale, Heterogeneous Consumers, Tariff Integration